



2023年3月期第1四半期 決算説明資料

2022.08.04

TIS株式会社

© 2022 TIS Inc.

(2022年8月4日開催 アナリスト向け決算説明会 プレゼンテーション要旨)

- TISの河村でございます。よろしくお願いいたします。
- それでは、本日15時に発表しました、当社グループの第1四半期決算の内容について、決算説明資料を使ってご説明いたします。

2023年3月期第1四半期 業績概要

- ・前年同期比増収増益。
- ・売上高総利益率の向上が牽引し、営業利益率は第1四半期としては初の10%台に。
- ・受注高・受注残高とも高水準。受注高は連結除外影響や反動減があるものの、実勢ベースでは堅調。

- ・ はじめに、2ページをご覧ください。
- ・ 今回の第1四半期決算のハイライトですが、
- ・ 前期比増収増益
- ・ 売上高総利益率の向上が牽引して、営業利益率が第1四半期としては初の10%台となったこと
- ・ 受注状況も、連結除外影響や反動減があるものの、実勢ベースでは堅調であり、高水準となったこと
- ・ 以上の3点から、2023年3月期も好調なスタートが切れたといえます。

2023年3月期1四半期 業績概要

2023年3月期 業績見通し

参考資料

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、TISインテックグループ（TISおよびグループ会社）が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

・各四半期会計期間（3カ月）の数値は累計期間の差引により算出しています。

・各セグメントの売上高はセグメント間の売上高を含んだ数値です。（P9除く）

・2022年3月期第1四半期より、「収益認識に関する会計基準」を適用しています。

（説明省略）

2023年3月期1四半期 業績概要

2023年3月期 業績見通し

参考資料

(説明省略)

2023年3月期第1四半期 業績ハイライト（前年同期比）



- ・顧客のデジタル変革需要等のIT投資ニーズへの的確な対応による事業拡大により、増収増益。
- ・営業利益率は第1四半期として初めて10%台を達成。引き続き力強い増益率を実現。

(百万円)	2022年3月期 第1四半期	2023年3月期 第1四半期	前年同期比	
売上高	113,520	118,072	+4,551	(+4.0%)
営業利益	10,258	12,502	+2,243	(+21.9%)
営業利益率	9.0%	10.6%	+1.6P	—
親会社株主に帰属する 四半期純利益	7,002	8,763	+1,760	(+25.1%)
四半期純利益率	6.2%	7.4%	+1.2P	—

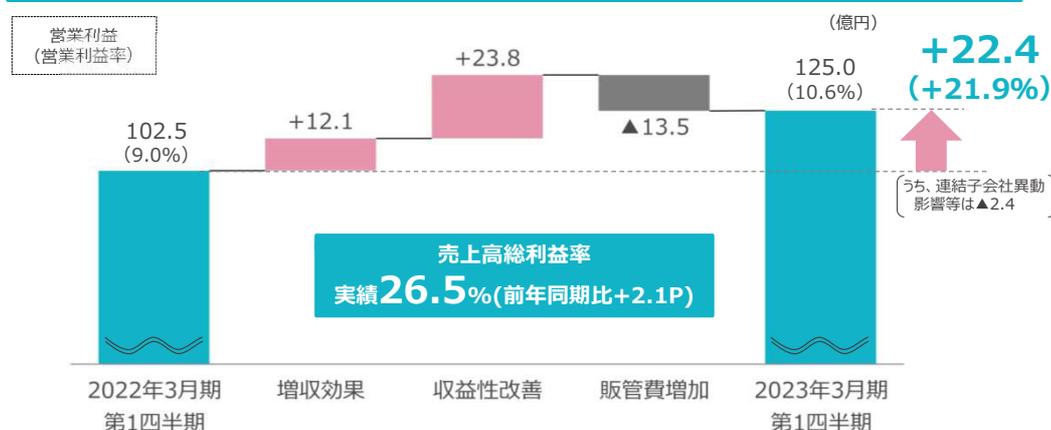
・営業外収益：1,414百万円（前年同期比 +501百万円）
 →受取配当金 579百万円
 為替差益 383百万円 等
 ・営業外費用：124百万円（前年同期比 ▲186百万円）

・特別利益：49百万円（前年同期比 +48百万円）
 ・特別損失：343百万円（前年同期比 +14百万円）
 →投資有価証券評価損 325百万円 等

- ・ それでは、5ページをご覧ください。
- ・ 2023年3月期第1四半期の業績概要です。
- ・ 引き続き良好な事業環境が継続したことを背景に、好調に推移しました。
- ・ 売上高は前年同期比45億円増の1,180億円となりました。顧客のデジタル変革需要等のIT投資ニーズへの的確に対応したことが奏功したと考えています。
- ・ 営業利益は前年同期比22億円増の125億円となり、営業利益率は9.0%から10.6%となりました。第1四半期として10%を上回るのは初めてのことです。
- ・ 親会社株主に帰属する四半期純利益は、営業利益の増加を背景として前年同期比17億円増の87億円となりました。

2023年3月期第1四半期 営業利益要因別増減分析（前年同期比）

・売上高総利益率の向上が牽引し、積極的な先行投資を吸収して営業増益を達成。



構造転換推進のための先行投資コスト：前年同期比+4.3

(売上原価：+2.5 販管費：+1.8)

「ソフトウェア投資」/「人財投資」/「研究開発投資」

+

人財投資コスト（追加分）：前年同期比+4.8

(売上原価：+2.7 販管費：+2.0)

働き方改革推進のためのオフィス改革コスト：前年同期比▲2.7

(売上原価：▲0.8 販管費▲1.9)

<販管費増減>

連結子会社異動影響等 ▲0.9

オフィス改革 ▲1.9

先行投資（処遇改善含む） +3.8

経費削減・本社機能高度化 +0.0

その他（ブランド関連含む） +12.5

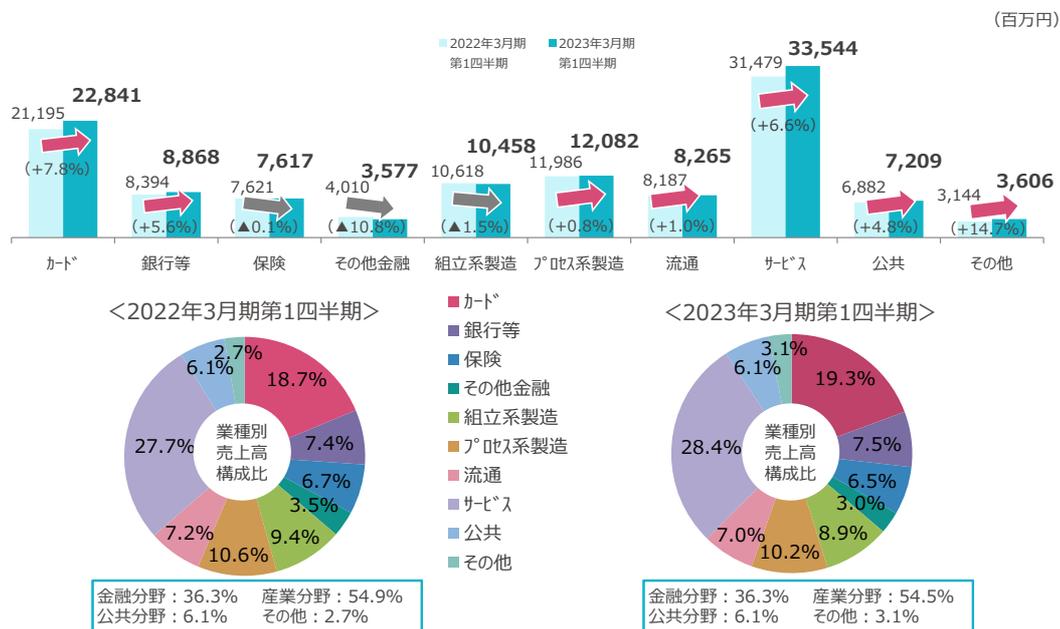
計 +13.5

- ・ 6ページは営業利益の要因別増減です。
- ・ 増収効果及び収益性改善による売上総利益の増加が、販管費の増加を吸収して、20%を超える力強い増益率を実現しました。
- ・ 売上高総利益率は、高付加価値ビジネスの提供、生産性向上施策の推進等により、前年同期比2.1ポイント上昇の26.5%へ向上し、これが処遇改善をはじめ、将来の成長に資する積極的な先行投資を吸収し、営業利益率の1.6ポイント上昇につながっています。
- ・ なお、第1四半期の不採算案件は1億円と、しっかりと抑制することができました。

2023年3月期第1四半期 顧客業種別売上高



・根幹先顧客を中心にカード、サービスが全体の伸びを牽引。製造業には連結除外影響あり。



- ・ 7ページをご覧ください。顧客業種別売上高の状況です。
- ・ 多くの業種で業績が向上していることから、全体的に好調だったと考えています。
- ・ 根幹先顧客を中心に「カード」、「サービス」が全体の伸びを牽引しました。
- ・ 前期中に実施した子会社売却による連結除外影響は主に「組立系製造」と「プロセス系製造」で生じており、これを考慮すると「組立系製造」も前年同期比増加となりますので、堅調だったといえます。

2023年3月期第1四半期
主要セグメント別損益状況（前年同期比）



(百万円)		2022年3月期 第1四半期	2023年3月期 第1四半期	前年同期比	
オフアリングサービス	売上高	24,703	26,192	+1,488	(+6.0%)
	営業利益	898	1,467	+569	(+63.4%)
	営業利益率	3.6%	5.6%	+2.0P	-
BPM	売上高	10,412	10,581	+169	(+1.6%)
	営業利益	994	1,087	+93	(+9.4%)
	営業利益率	9.6%	10.3%	+0.7P	-
金融IT	売上高	21,555	22,960	+1,404	(+6.5%)
	営業利益	2,649	2,795	+146	(+5.5%)
	営業利益率	12.3%	12.2%	▲0.1P	-
産業IT	売上高	24,317	26,701	+2,383	(+9.8%)
	営業利益	2,476	3,544	+1,068	(+43.1%)
	営業利益率	10.2%	13.3%	+3.1P	-
広域ITソリューション	売上高	37,506	36,397	▲1,108	(▲3.0%)
	営業利益	2,886	3,404	+518	(+18.0%)
	営業利益率	7.7%	9.4%	+1.7P	-

オフアリングサービス : デジタル化の進展に伴うIT投資需要の取り込み(決済)等のほか収益性改善により増収増益。
 BPM : アウトソーシングニーズの高まりを背景として安定的に推移し増収増益。
 金融IT : クレジットカード系の根幹先顧客におけるIT投資拡大の動き等を受け、増収増益。
 産業IT : 製造、エネルギーの既存顧客を中心としたIT投資拡大の動きに加え、収益性改善により増収増益。
 広域ITソリューション : 子会社売却の影響で減収も、実勢ベースでは堅調。採算性を重視した事業活動の推進により営業利益は増益。

© 2022 TIS Inc.

8

- 8ページは、主要なセグメント別の状況です。
- 「オフアリングサービス」はデジタル化の進展に伴う決済等のIT投資需要の取り込みの他、基盤系案件の積み上がりによる収益性改善等により増収増益となりました。
- 「BPM」は企業のアウトソーシングニーズの高まりを背景として安定的に推移し、増収増益となりました。
- 「金融IT」はクレジットカード系根幹先顧客のIT投資拡大の動き等を受けて増収増益となりました。
- 「産業IT」は製造業やエネルギー系の根幹先顧客を中心としたIT投資拡大の動きに加え、生産性向上施策の推進等により収益性改善が進んだことから増収増益となりました。
- 「広域ITソリューション」が減収となっているのは、およそ20億円の連結除外影響によるものであり、実勢ベースでは堅調です。営業利益については、生産性向上の施策推進等により、増益となりました。
- なお、9ページで事業別の売上高を掲載しています。外部顧客向けの売上高ではありませんが、今申し上げた内容の参考にしていただければと存じます。

参考：2023年3月期第1四半期
 主要セグメント別売上高（事業別）※外部顧客向け



(百万円)	2022年3月期 第1四半期	2023年3月期 第1四半期	前年同期比	
オファリングサービス	21,546	23,358	+1,811	(+8.4%)
ソフトウェア開発	11,502	11,177	▲325	(▲2.8%)
運用・クラウドサービス	5,512	6,983	+1,471	(+26.7%)
製品・ソフトウェア販売	4,531	5,197	+665	(+14.7%)
BPM	9,794	9,997	+202	(+2.1%)
ソフトウェア開発	4,038	4,289	+251	(+6.2%)
運用・クラウドサービス	5,756	5,707	▲48	(▲0.8%)
製品・ソフトウェア販売	—	—	—	—
金融IT	21,154	22,570	+1,416	(+6.7%)
ソフトウェア開発	10,480	12,115	+1,635	(+15.6%)
運用・クラウドサービス	8,499	9,103	+603	(+7.1%)
製品・ソフトウェア販売	2,174	1,351	▲822	(▲37.8%)
産業IT	23,975	26,526	+2,551	(+10.6%)
ソフトウェア開発	15,097	17,758	+2,660	(+17.6%)
運用・クラウドサービス	5,862	5,827	▲35	(▲0.6%)
製品・ソフトウェア販売	3,014	2,940	▲74	(▲2.5%)
広域ITソリューション	36,471	35,005	▲1,465	(▲4.0%)
ソフトウェア開発	19,322	17,883	▲1,438	(▲7.4%)
運用・クラウドサービス	12,272	13,603	+1,331	(+10.8%)
製品・ソフトウェア販売	4,876	3,518	▲1,358	(▲27.9%)

© 2022 TIS Inc.

9

- (説明省略)

2023年3月期第1四半期 受注状況（全体）



・主としてソフトウェア開発の受注状況を反映。受注高・受注残高とも高水準。連結除外影響や反動減があるものの、実勢ベースでは堅調。

（百万円）	2022年3月期 第1四半期	2023年3月期 第1四半期	前年同期比	
当期受注高	89,088	88,249	▲839	(▲0.9%)
オファリングサービス	15,965	15,733	▲232	(▲1.5%)
BPM	11,370	10,237	▲1,132	(▲10.0%)
金融IT	10,354	14,415	+4,060	(+39.2%)
産業IT	22,472	19,827	▲2,644	(▲11.8%)
広域ITソリューション	28,924	28,034	▲890	(▲3.1%)
期末受注残高	123,519	132,876	+9,356	(+7.6%)
オファリングサービス	20,940	23,786	+2,846	(+13.6%)
BPM	8,791	8,744	▲46	(▲0.5%)
金融IT	27,936	31,235	+3,298	(+11.8%)
産業IT	29,028	31,166	+2,137	(+7.4%)
広域ITソリューション	36,823	37,943	+1,120	(+3.0%)

2022年3月期第1四半期の受注高はの数値は変更後のセグメントに組み替えて算出したものです。

© 2022 TIS Inc.

10

- 10ページからは受注状況についてです。
- まず、10ページは運用等を含めた全体の受注状況です。
- なお、全体の受注状況に大きく反映されるソフトウェア開発の受注状況については次のページでご説明します。
- 受注高は前年同期比0.9%減の882億円となりましたが、広域ITソリューションにおいて連結除外影響がおよそ20億円あったことや、産業ITで前期の第1四半期にまとまった受注高を計上していたことの反動減によるものであり、実勢ベースでは堅調で高水準であったと考えています。
- 受注残高は前年同期比7.6%増の1,328億円に積み上がっており、同様に高水準でした。

2023年3月期第1四半期 受注状況（ソフトウェア開発）



・根幹先顧客の好調を背景とする金融ITの増加がBPM、産業ITの反動減や広域ITソリューションの連結除外影響を吸収。受注高・受注残高とも高水準。

(百万円)	2022年3月期 第1四半期	2023年3月期 第1四半期	前年同期比	
当期受注高	61,326	61,232	▲93	(▲0.2%)
オファリングサービス	9,200	9,561	+361	(+3.9%)
BPM	5,614	4,530	▲1,083	(▲19.3%)
金融IT	8,231	11,872	+3,641	(+44.2%)
産業IT	19,266	16,839	▲2,427	(▲12.6%)
広域ITソリューション	19,013	18,427	▲585	(▲3.1%)
期末受注残高	84,794	92,331	+7,536	(+8.9%)
オファリングサービス	13,937	14,684	+746	(+5.4%)
BPM	8,791	8,744	▲46	(▲0.5%)
金融IT	17,822	21,635	+3,812	(+21.4%)
産業IT	21,443	23,220	+1,776	(+8.3%)
広域ITソリューション	22,799	24,046	+1,247	(+5.5%)

© 2022 TIS Inc.

11

- 11ページは「ソフトウェア開発」の受注状況です。
- 受注高は前年同期比を若干下回りましたが、「産業IT」における反動減や「広域ITソリューション」における連結除外影響がある中でも、金融ITの増加等を通じて、第1四半期として過去最高だった前年同期に劣らない高水準に積み上げることができたと評価しています。
- なお、「BPM」についても前年同期比を下回っていますが、受注の波によるものです。

2023年3月期第1四半期 業績概要

2023年3月期 業績見通し

参考資料

- 続きまして、2023年3月期の業績見通しについてご説明いたします。

2023年3月期 業績予想ハイライト ※変更なし



・堅調なIT投資需要を背景として、中期経営計画の計数目標を視界に捉えた増収増益の計画。当期純利益は特別利益の減少を反映。ROEは前期比低下も中期経営計画の目標水準。
 ・構造転換の実現に向けて、その原動力となる人材に対する投資を強化。

(百万円)	2022年3月期 実績	2023年3月期 計画	前期比	
売上高	482,547	500,000	+17,453	(+3.6%)
営業利益	54,739	57,000	+2,261	(+4.1%)
営業利益率	11.3%	11.4%	+0.1P	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	39,462	37,500	▲1,962	(▲5.0%)
当期純利益率	8.2%	7.5%	▲0.7P	—
1株当たり当期純利益 (円)	157.69	154.22	▲3.47	(▲2.2%)
ROE *	14.0%	12.9%	▲1.1P	—

* 2023年3月期のROEは、試算値。

© 2022 TIS Inc.

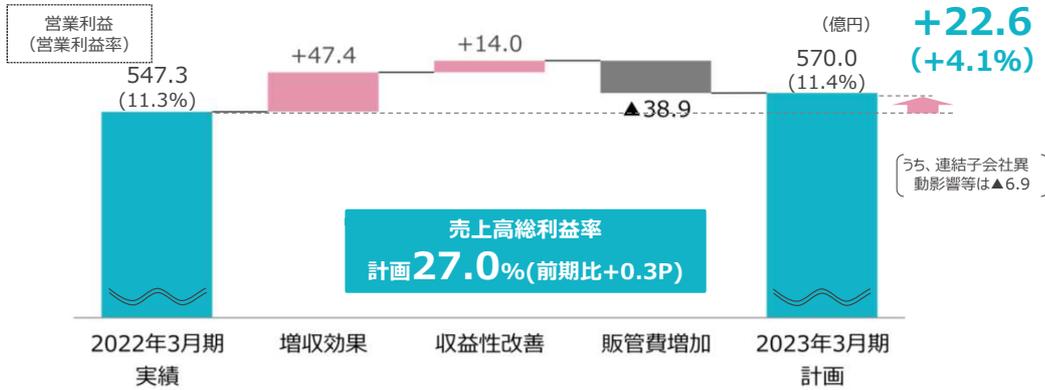
13

- ・ 13ページは2023年3月期の通期業績予想です。
- ・ 冒頭でも申し上げたように、第1四半期の実績は好調なスタートといえる内容でしたが、依然として外部環境の先行きが不透明であることを踏まえて、現時点では2023年3月期の業績見通しの変更はございません。
- ・ 売上高は前期比3.6%増の5,000億円、営業利益は前期比4.1%増の570億円、親会社株主に帰属する当期純利益は前期比5.0%減の375億円としています。引き続き、積極的な成長投資と収益性向上の両立を前提に、案件獲得・受注積み上げ等を推進し、期初計画の達成をより確かなものにしてまいります。
- ・ 以上で、説明を終了いたします。

2023年3月期 営業利益要因別増減分析（予想） ※変更なし



・高付加価値ビジネス推進や生産性向上等が処遇改善を含む積極的な成長投資に伴うコスト増を吸収し、営業増益を見込む。



<p>構造転換推進のための先行投資コスト：前期比+28.1 (売上原価：+19.0 販管費：+9.1) 「ソフトウェア投資」 / 「人財投資」 / 「研究開発投資」 + 人財投資コスト (追加分)：前年同期比+10.0 (売上原価：+7.1 販管費：+2.9)</p>
<p>働き方改革推進のためのオフィス改革コスト：前期比▲9.8 (売上原価：±0.0 販管費：▲9.8)</p>

<販管費増減>	
連結子会社異動影響等	+0.8
オフィス改革	▲9.8
先行投資 (処遇改善含む)	+12.0
経費削減・本社機能高度化	▲3.0
その他 (ブランド関連含む)	+38.9
計	+38.9

© 2022 TIS Inc.

14

(説明省略)

2023年3月期 主要セグメント別損益状況（予想） ※変更なし



(百万円)		2022年3月期 実績*	2023年3月期 計画	前期比	
オファリング サービス	売上高	103,167	106,300	+3,133	(+3.0%)
	営業利益	4,692	6,100	+1,408	(+30.0%)
	営業利益率	4.5%	5.7%	+1.2P	-
BPM	売上高	42,951	44,900	+1,949	(+4.5%)
	営業利益	4,991	5,250	+259	(+5.2%)
	営業利益率	11.6%	11.7%	+0.1P	-
金融IT	売上高	91,651	95,700	+4,049	(+4.4%)
	営業利益	12,355	13,000	+645	(+5.2%)
	営業利益率	13.5%	13.6%	+0.1P	-
産業IT	売上高	108,751	110,700	+1,949	(+1.8%)
	営業利益	15,356	15,900	+544	(+3.5%)
	営業利益率	14.1%	14.4%	+0.3P	-
広域IT ソリューション	売上高	156,231	158,500	+2,269	(+1.5%)
	営業利益	16,492	17,200	+708	(+4.3%)
	営業利益率	10.6%	10.9%	+0.3P	-

オファリングサービス : 決済関連ビジネスの拡大を中心として、増収増益の計画。クレジットSaaSのローンチも貢献が始まる。
 BPM : BPOニーズへの対応に加えて、業務最適化支援を積極的に推進し、増収増益の計画。
 金融IT : カード根幹先顧客向け取引拡大を中心として、増収増益の計画。
 産業IT : 複数案件の一部ピークアウトを見込むが、根幹先顧客への取引拡大を中心として、増収増益の計画。
 広域ITソリューション : 既存顧客向け取引拡大およびソリューションの横展開推進により、増収増益の計画。

© 2022 TIS Inc. * 2022年3月期の数値は変更後のセグメントに組み替えて算出したものです。

(説明省略)

2023年3月期第1四半期 業績概要

2023年3月期 業績見通し

参考資料

(説明省略)

2023年3月期上期

業績ハイライト・主要セグメント別損益（予想） ※変更なし



(百万円)		2022年3月期 上期*	2023年3月期 上期（計画）	前年同期比	
売上高		234,332	240,000	+5,668	(+2.4%)
営業利益		23,866	25,000	+1,134	(+4.8%)
営業利益率		10.2%	10.4%	+0.2P	-
親会社株主に帰属する四半期純利益		15,521	16,500	+979	(+6.3%)
四半期純利益率		6.6%	6.9%	+0.3P	-
主要セグメント別					
オフアリング サービス	売上高	49,786	50,500	+714	(+1.4%)
	営業利益	2,158	2,200	+42	(+1.9%)
	営業利益率	4.3%	4.4%	+0.1P	-
BPM	売上高	21,230	21,900	+670	(+3.2%)
	営業利益	2,225	2,300	+75	(+3.4%)
	営業利益率	10.5%	10.5%	±0.0P	-
金融IT	売上高	44,342	47,000	+2,658	(+6.0%)
	営業利益	5,916	6,300	+384	(+6.5%)
	営業利益率	13.3%	13.4%	+0.1P	-
産業IT	売上高	51,959	54,000	+2,041	(+3.9%)
	営業利益	5,934	7,000	+1,066	(+18.0%)
	営業利益率	11.4%	13.0%	+1.6P	-
広域ITソリューション	売上高	77,529	76,000	▲1,529	(▲2.0%)
	営業利益	7,144	7,400	+256	(+3.6%)
	営業利益率	9.2%	9.7%	+0.5P	-

© 2022 TIS Inc. * 2022年3月期の数値は変更後のセグメントに組み替えて算出したものです。

17

(説明省略)

2023年3月期下期

業績ハイライト・主要セグメント別損益（予想） ※変更なし



(百万円)		2022年3月期 下期*	2023年3月期 下期（計画）	前年同期比	
売上高		248,215	260,000	+11,785	(+4.7%)
営業利益		30,873	32,000	+1,127	(+3.7%)
営業利益率		12.4%	12.3%	▲0.1P	-
親会社株主に帰属する四半期純利益		23,941	21,000	▲2,941	(▲12.3%)
四半期純利益率		9.6%	8.1%	▲1.5P	-
主要セグメント別					
オフアリング サービス	売上高	53,380	55,800	+2,420	(+4.5%)
	営業利益	2,534	3,900	+1,366	(+53.9%)
	営業利益率	4.7%	7.0%	+2.3P	-
BPM	売上高	21,720	23,000	+1,280	(+5.9%)
	営業利益	2,766	2,950	+184	(+6.7%)
	営業利益率	12.7%	12.8%	+0.1P	-
金融IT	売上高	47,308	48,700	+1,392	(+2.9%)
	営業利益	6,438	6,700	+262	(+4.1%)
	営業利益率	13.6%	13.8%	+0.2P	-
産業IT	売上高	56,792	56,700	▲92	(▲0.2%)
	営業利益	9,421	8,900	▲521	(▲5.5%)
	営業利益率	16.6%	15.7%	▲0.9P	-
広域ITソリューション	売上高	78,702	82,500	+3,798	(+4.8%)
	営業利益	9,347	9,800	+453	(+4.8%)
	営業利益率	11.9%	11.9%	±0.0P	-

© 2022 TIS Inc. * 2022年3月期の数値は変更後のセグメントに組み替えて算出したものです。

下期計画 = 通期計画 - 上期計画

18

(説明省略)

2023年3月期第1四半期 プレスリリース/お知らせ①



発表日付	タイトル
2022年4月1日	TIS および連結子会社の人事異動及び機構改革のお知らせ
2022年4月1日	グループのシェアードサービス事業を担う連結子会社名を「TISビジネスサービス」に変更
2022年4月12日	オンラインコミュニケーションツールを比較し、自己開示の効果を検証
2022年4月13日	インテック、富山県内のケーブルテレビ局2社（NICE TV、TST）と地域ネットワークインフラを活用した自治体向けIoTプラットフォームの協業を開始
2022年4月13日	ローコード開発基盤「OutSystems」とアジャイル方式を採用し、東洋製罐の製品マスタ管理システムを短期間で再構築
2022年4月14日	TISの「Spendia」と法人カードの利用で八千代工業株式会社の経費精算システムを刷新
2022年4月15日	TIS および連結子会社の人事異動及び機構改革のお知らせ
2022年4月15日	TIS、OCI-トータル支援サービスを拡張し、「Oracle Cloud VMware Solutionマイグレーションサービス」を提供
2022年4月19日	GMOグローバルサインとネクスウェイが業務提携し、「GMO顔認証eKYC」と「本人確認BPOサービス」を連携
2022年4月19日	アプラスがAI（機械学習*1モデル）を用いたクレジットカード不正検知スコアエンジンを導入
2022年4月20日	TISと沖縄都市モノレールが展開する「沖縄MaaS」JCCCマーケティンググループと協業し、Tポイントのデータを活用した利用促進施策を実施
2022年4月21日	TIS、「UiPath Partner Awards 2021」にて二年連続でアワードを受賞
2022年4月22日	「東京ミッドタウン八重洲」にデリバリーサービスなど複数サービスロボットの運用を可能にするRoboticBase®の導入が決定
2022年4月25日	インテック、AI関連の開発やAI人材育成に強みを持つAVILENと資本・業務提携
2022年4月26日	アグレックス、国内初！BPO サービス運用への「Celonis EMS」導入により継続的な業務改善と提供サービスの高度化を推進
2022年4月26日	インテック、「クラウド型バックアップサービス」に「Cohesity DataProtect」を採用し、次世代データ保護に対応した新サービス基盤を提供
2022年4月27日	インテック、Amazon RDSサービスデリバリープログラム認定を取得
2022年4月27日	TIS、中部プラントサービスの会計システム「SuperStream-NX」へのアップグレードを支援
2022年4月28日	TIS、AWS認定資格保有数1,000を突破し、「AWS 1000 Certified」の認定を取得
2022年5月9日	TIS、国際ブランドプリペイド決済サービスを提供するULTRA社を連結子会社化
2022年5月9日	TIS、クレジット業界におけるグローバルセキュリティ基準であるPCI DSSv4.0への準拠支援コンサルティングを提供開始
2022年5月10日	愛媛CATV、愛媛県災害情報5G活用検討会にてインテックと被災現場の高精細映像活用の実証試験を実施
2022年5月11日	TIS の人事異動のお知らせ
2022年5月12日	インテック、パブリックWebサーバ証明書発行サービス(EINS/PKI)をリニューアル
2022年5月13日	TIS、オウンドメディア「TIS INTEC Group MAGAZINE」を開設
2022年5月13日	TIS、インテック、JCG、5Gを活用したeスポーツイベント開催に向けた検証を実施

© 2022 TIS Inc.

19

(説明省略)

2023年3月期第1四半期 プレスリリース/お知らせ②



発表日付	タイトル
2022年5月16日	TISソリューションリンク、女性活躍推進法に基づく「えるぼし認定」の2つ星を取得
2022年5月16日	TISの地域医療情報連携サービス「ヘルスケアサポート」の検査値を電子お薬手帳「ポケットファーマシー」へ連携
2022年5月17日	EAGLYSとTIS、秘密計算と量子暗号通信の技術連携に取り組み、高セキュリティ水準のデータ連携環境及び暗号鍵管理の構築に成功
2022年5月17日	クオリカ、勤務地に縛られない働き方、多様な働き方実現のため、「居住地選択制度」を導入
2022年5月18日	クオリカ、サイボウズパートナー評価制度「Cybozu Partner Network Report 2022」のインテグレーション部門で2つ星の評価を獲得
2022年5月18日	ネクスウェイ、Salesforceで管理している顧客情報から最適な宛先へ自動でSMS配信ができる「SMSLINK for CRM」を提供開始
2022年5月19日	「DX支援スキーム」に関する協業について
2022年5月19日	TIS、アセンブラシステムの保守開発支援・プログラム解析を行う「アセンブラお助けサービス」を提供開始
2022年5月19日	アグレックス、ERPシステム導入時の適合性や課題検証を行うERP Biz / Infor CSI 向け「体感型 PoC サービス」に、投資対効果を数値化するシミュレーション機能を新たに追加
2022年5月26日	インテックとブルーイノベーション、ドローンやロボットを活用したDXソリューションの共同開発で業務・資本提携
2022年5月30日	インテック、AI音声認識機能を強化したコールセンター構築用パッケージ「CTI-One V6.2」を提供開始
2022年5月31日	流通サプライチェーンにおけるデジタル通貨を活用した実証実験を開始
2022年5月31日	TISの経費精算クラウドサービス「Spendia」に基本機能に特化した「Spendiaクイック導入版」を追加
2022年6月1日	「2022 APN AWS Top Engineers」にインテック社員が選出
2022年6月1日	AWSの「2022 AWS Partner Ambassadors」「2022 APN AWS Top Engineers」「2022 APN ALL AWS Certifications Engineers」にTIS社員が選出
2022年6月2日	ネクスウェイ、SMS配信サービス「SMSLINK」に受信したSMSに直接返信できる「双方向機能」を追加
2022年6月6日	TISとCode for Japan、持続可能なまちづくりに向けて包括連携
2022年6月7日	TISと滯標アナリティクス、AI人材の内製化ニーズにこたえるデータ分析・AI人材育成サービスを提供開始
2022年6月8日	TIS、交通決済領域に強みを持つインドネシアのベンチャー企業「AINO」に追加出資
2022年6月13日	TIS、ダイキン工業の全社規模のRPA展開を約1年半で完了し、累計10万時間分の手作業の自動化達成を支援
2022年6月15日	連結子会社の人事異動のお知らせ
2022年6月16日	TIS、大手企業とスタートアップ企業のコラボレーションを目指す「TIS共創イノベーション・コンソーシアム」を実施
2022年6月16日	インテック、「mcfame Award 2022」で「Project of the Year」を受賞
2022年6月17日	TIS、PHRサービス産業の健全な発展を通じて国民の健康増進や豊かで幸福な生活（Well-being）への貢献を目指す「PHRサービス事業協会」に参画

© 2022 TIS Inc.

20

(説明省略)

ITで、社会の願い叶えよう。



<本資料の取り扱いに関して>
本資料は、著作権法及び不正競争防止法上の保護を受けております。資料の一部あるいは全部について、TIS株式会社から許諾を得ずに、複写、複製、転記、転載、
改変、ノウハウの使用、営業秘密の開示等を行うことは禁じられております。本文記載の社名・製品名・ロゴは各社の商標または登録商標です。

(説明省略)